

研究課題(テーマ)		チャレンジ the ものづくり	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	パステル工房企画管理運営委員会	委員長	真田 和昭
研究結果の概要			
<p>&lt; 遂行内容 &gt;</p> <p>多くの学生にもものづくりを気軽に体験してもらえるように、風鈴、リングピロー、写真立て、小物入れといった簡単な小物を製作するコースを設定した。また、学生が参加しやすいように、開催時期を9月末に設定し、製作時間を半日(午後)に設定した。さらに、実施内容をホームページに掲載する他、ポスターの掲示、チラシの配布を行い、申込フォームをFormsで作成して、QRコードで簡単にリンクに飛べるように工夫した。その結果、実施実績は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月20日(火)、21日(水)、22日(木)、9月26日(水)～30日(金)の8日間の開催とした。</li> <li>・参加申込人数は、機械システム工学科1年生1名、機械システム工学科3年生3名、知能ロボット工学科4年生5名、合計9名であった。</li> <li>・コース別の人数は、風鈴コース5名、写真立てコース1名、リングピローコース2名、小物入れコース1名であった。</li> </ul> <p>体験後、アンケートを実施し、以下のような回答を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判らない箇所は教えていただき、自分で考える場面もあってやりがいがあった。</li> <li>・参加者3人に対して先生が2人もいて、少人数なので良かった。</li> <li>・ものづくりを楽しみ、興味を持てた。</li> <li>・パステル工房内にある機械をたくさん使える体験がしたい。</li> </ul> <p>&lt; プログラムによる成果 &gt;</p> <p>参加人数は、チャレンジ the ものづくりを始めた平成30年度は28名、令和元年度は20名、令和2年度は68名、今年度は9名と減少しており(令和3年度はコロナ禍で中止)、参加者の所属学科は、今年度は機械システム工学科と知能ロボット工学科のみであった。しかし、今年度も幅広い学生にもものづくり体験の契機を十分に提供でき、参加者に対しては、ものづくりの基礎的技術の習得と向上という教育効果もあったと思われる。</p>			
今後の展開			
<p>来年度は、1年生の教養ゼミのパステル工房見学の機会を活用して、幅広く各学科から参加してもらうとともに、機械製作実習がコロナ禍でオンラインとなった機械システム工学科、知能ロボット工学科の4年生にも参加してもらい、ものづくりの基礎的技術の習得と向上の機会とする予定である。</p>			